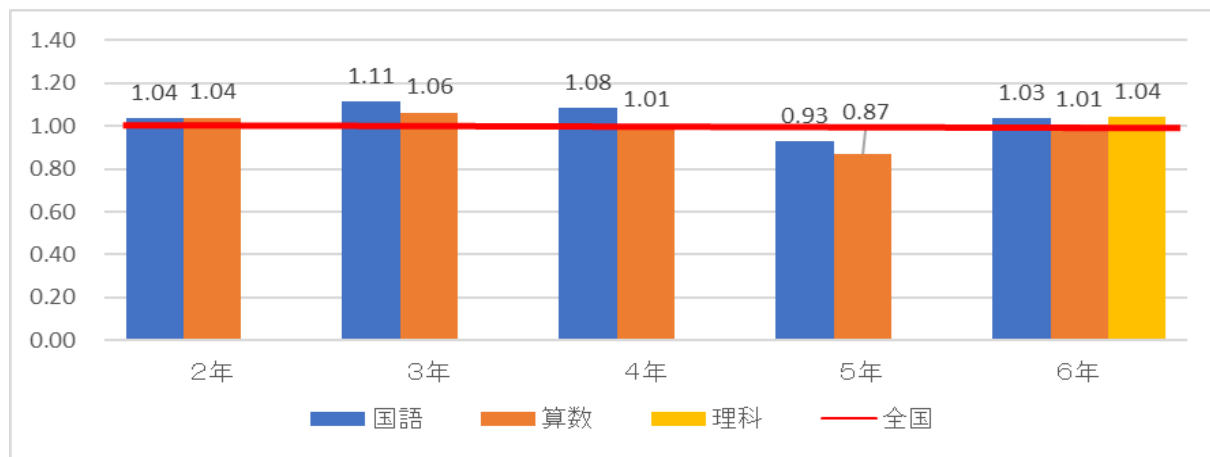


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 望が丘中学校区 望が丘小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	「情報の扱いに関する事項」で、概ね全国平均程度かそれ以上の正答率となっていた。国語の授業で基礎・基本の定着を図り、それを土台とした各教科における言語活動を充実させていく。
	算数	低学年の基礎的な計算力は定着している。中学年での「図形」や「変化と関係」領域の定着に課題が見られるため、習熟度別授業や、ICT機器の効果的な活用等の授業改善に取り組んでいく。
全国学力・学習状況調査	国語	「情報の扱いに関する事項」に関する問題が、全国平均を大きく上回っており、情報の選択や活用する力の定着が見られる。今後も「考える力」を育む学習の推進と、その土台となる基礎・基本の定着を図っていく。
	算数	「データの活用」領域が全国平均を上回っており、情報活用能力が育っている。基礎的な計算力も定着している。今後はこれらの力をもとに数量関係の領域についての学力定着を図っていく。
	理科	「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」とともに全国平均を上回った。これらの力を活用し、科学的な思考力を育てる授業づくりに取り組んでいく。
	質問紙	「困りごとや不安を先生に相談できる」の肯定的回答が全国平均を大きく上回っている。今後も、児童一人ひとりに寄り添い、信頼関係が深まるよう教育活動を進めていく。

○学力向上の取組

【中学校区】

以下の取組を通して、9年間の段差のない、絶え間ない学力向上をめざす。

- ・全国学力テスト・到達度テスト等の結果を分析し、共通の課題を見つけ、小中合同で研究授業や授業公開を行い、指導改善につなげる。
- ・ディベートを含め、各教科9年間を見通したカリキュラムの作成・点検・改善を行う。
- ・家庭学習の定着に向けて「自主学習ノート」の取組を改善する。
- ・各種加配教員による校種間連携を充実させ、各教科の指導方法の工夫改善を図る。

【学校】

国語科における「書くこと」領域に重点を置いた授業づくりや、ディベート教育を進めることで、学習の土台となる「考える力」のさらなる育成に努める。算数科については、タブレットPCを活用した学習により基礎・基本の定着を図るとともに、図形やグラフの読み取りなど視覚的に捉えやすい授業を実施する。主体的な学習習慣育成のために「自主学習ノート」や「放課後学習教室」の取組をすすめる。また、今年度より、すべての学習の土台となる、学ぶ意欲や自ら学び続ける力を育成するために、探究的な学習に取り組んでいく。これらを中心に教育活動を展開する中で、考える力を身につけた、たくましく生き抜く子の育成に努めていく。